

令和5年度事業報告書

学校法人塚本学院
大阪芸術大学グループ

令和5年度 学校法人塚本学院 事業報告書

I. 法人の概要

◇基本情報

①法人の名称

学校法人塚本学院

②主たる事務所の住所、電話番号、FAX番号、ホームページアドレス

主たる事務所の所在地 大阪府大阪市東住吉区矢田2-14-19
電話番号 / FAX番号 TEL 06-6692-7487 / FAX 06-6691-9255
ホームページアドレス <https://www.osaka-geidai.ac.jp/>

◇建学の精神

大阪芸術大学

自由の精神の徹底
創造性の奨励
総合のための分化と境界領域の開拓
国際的視野に立つての展開
実用的合理性の重視

大阪芸術大学短期大学部

大阪芸術大学短期大学部は、
日本国憲法に則り、
私学の本分を尽くし、
世界の平和と人類の福祉に貢献することを目的とする。
また、広く知識を求めて学術の研究に励み、
専門的技術の習熟に努め、
もって心身ともに健全な文化人を育成することを使命とする。

大阪芸術大学附属大阪美術専門学校

自由の精神の徹底
創造性の奨励
総合のための分化と境界領域の開拓
国際的視野に立つての展開
実用的合理性の重視

◇学校法人の沿革

昭和20年	(1945) 初代理事長・学長故塚本英世により、平野英学塾創設。
昭和21年	(1946) 財団法人浪速外国語学校(3年制)を創立。平野英学塾を発展的解消。
昭和26年	(1951) 浪速外国語短期大学英语科及び学校法人浪速外国語学院を創立。
昭和27年	(1952) 大阪幼稚園教員養成所を設置。
昭和28年	(1953) 浪速外国語短期大学附属幼稚園を設置。
昭和29年	(1954) 浪速外国語短期大学に保育科を増設と同時に大阪幼稚園教員養成所を発展的解消。 浪速外国語短期大学を浪速短期大学に改称。巡回保育青い鳥幼稚園を開始。
昭和30年	(1955) 浪速短期大学に通信教育部保育科を増設。
昭和32年	(1957) 大阪美術学校(各種学校)を設置。
昭和33年	(1958) 浪速短期大学附属照ヶ丘幼稚園を設置。
昭和34年	(1959) 大阪市東住吉区矢田に法人本部を移転。
昭和35年	(1960) 浪速短期大学にデザイン美術科及び広報(マス・コミュニケーション)科を増設。
昭和37年	(1962) 浪速短期大学に商業科及び専攻科デザイン美術専攻を増設。
昭和38年	(1963) 浪速短期大学通信教育部にデザイン美術科及び広報(マス・コミュニケーション)科を増設。
昭和39年	(1964) 浪速芸術大学芸術学部美術学科及びデザイン学科を設置。
昭和41年	(1966) 学校法人浪速外国語学院を学校法人塚本学院に改称。浪速芸術大学を大阪芸術大学に改称。
昭和42年	(1967) 大阪芸術大学芸術学部建築学科及び文芸学科を増設。
昭和43年	(1968) 大阪芸術大学芸術学部音楽学科及び放送学科を増設。浪速短期大学附属金剛幼稚園を設置。
昭和44年	(1969) 大阪音楽センターを設置。
昭和45年	(1970) 大阪芸術大学芸術学部写真学科及び工芸学科を増設。大阪芸術センターを設置。
昭和46年	(1971) 大阪芸術大学芸術学部環境計画学科、音楽教育学科及び演奏学科並びに映像計画学科を増設。
昭和47年	(1972) 大阪音楽専門学校(各種学校)を設置。 米国美術大学連盟加盟校との夏期特別セミナー(第1回)を開講。以後、毎年本学及びカリフォルニア美術工芸大学等を会場として交互に開講。 第1回日韓3大学デザイン美術交流展開催。以後、大阪及びソウルを会場として開催。
昭和48年	(1973) 大阪芸術大学芸術専攻科(美術、デザイン、建築、文芸、音楽各専攻)を設置。
昭和49年	(1974) 大阪芸術大学芸術学部舞台芸術学科及び芸術計画学科を増設。
昭和50年	(1975) 学院創立30周年記念式典を挙行。
昭和53年	(1978) 大阪芸術大学芸術専攻科(写真、工芸、音楽教育、演奏各専攻)を増設。 大阪音楽専門学校(各種学校)を大阪芸術大学附属大阪音楽学校(各種学校)に改称。
昭和56年	(1981) 大阪美術学校(各種学校)を大阪芸術大学附属大阪美術専門学校(専修学校)として設置。 塚本英世記念館芸術情報センターを設置。
昭和57年	(1982) 大阪芸術大学・浪速短期大学附属泉北幼稚園を設置。
昭和60年	(1985) 学院創立40周年記念式典を挙行。
昭和61年	(1986) 大阪芸術大学芸術学部映像計画学科を同映像学科に名称変更。浪速短期大学伊丹学舎竣工。
昭和62年	(1987) 第1回日中交流作品展を上海で開催。以後、隔年に大阪と上海で開催。 学校法人塚本学院白浜研修センターを設置。
平成 4年	(1992) 学校法人塚本学院菅平高原研修センターを設置。
平成 5年	(1993) 大阪芸術大学大学院芸術文化研究科(修士課程)を設置。
平成 7年	(1995) 学院創立50周年記念式典を挙行。大阪芸術大学大学院芸術文化研究科(博士課程)を設置。
平成 9年	(1997) 大阪芸術大学大学院芸術制作研究科(修士課程)を設置。
平成12年	(2000) 浪速短期大学を大阪芸術大学短期大学部に名称変更。
平成13年	(2001) 大阪芸術大学に通信教育部芸術学部美術学科、デザイン学科、建築学科、文芸学科、音楽学科、放送学科、写真学科、工芸学科、映像学科、環境計画学科を設置。
平成14年	(2002) 大阪芸術大学博物館を設置。
平成15年	(2003) 大阪芸術大学芸術学部環境計画学科を環境デザイン学科に改称。
平成17年	(2005) 学院創立60周年記念式典を挙行。 大阪芸術大学大学院芸術文化研究科(博士課程)及び芸術制作研究科(修士課程)を芸術研究科博士課程〔前期・後期〕に改組。

大阪芸術大学芸術学部 キャラクター造形学科を増設。大阪芸術大学短期大学部商業学科を経営デザイン学科に名称変更。

大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 キャラクター造形学科を増設。

大阪芸術大学附属大阪美術専門学校デザイン工学科を総合デザイン学科に名称変更。

平成19年 (2007) 大阪芸術大学テレビ開局。

平成20年 (2008) 大阪芸術大学はたるまちキャンパス開設。

平成22年 (2010) 大阪芸術大学芸術学部 初等芸術教育学科を増設。大阪芸術大学通信教育部芸術学部 初等芸術教育学科を増設。

大阪芸術大学短期大学部 経営デザイン学科をビジネス学科に、広報学科をメディア・芸術学科に名称変更。

平成25年 (2013) 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校に総合アート学科を増設。

平成26年 (2014) 大阪芸術大学スカイキャンパス開設。

平成27年 (2015) 学院創立70周年記念式典を挙行。

平成29年 (2017) 大阪芸術大学芸術学部 アートサイエンス学科を増設。

大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 総合アート学科をコミック・アート学科に名称変更。

◇設置する学校・学部・学科等

大阪芸術大学
大学院 芸術研究科

芸術学部 美術学科 デザイン学科 建築学科 文芸学科 音楽学科 放送学科
写真学科 工芸学科 映像学科 演奏学科 舞台芸術学科
芸術計画学科 キャラクター造形学科 初等芸術教育学科
アートサイエンス学科
通信教育部

大阪芸術大学短期大学部
保育学科 メディア・芸術学科 デザイン美術学科
通信教育部

大阪芸術大学附属大阪美術専門学校
総合デザイン学科 コミック・アート学科
芸術研究科

大阪芸術大学附属松ヶ鼻幼稚園
大阪芸術大学附属照ヶ丘幼稚園
大阪芸術大学附属金剛幼稚園
大阪芸術大学附属泉北幼稚園

学生動態

大阪芸術大学

(令和5年5月1日現在)

学科名	定員		令和4年度 卒業生数	1年次 入学生数	3年次 編入学生数	在学生数
	入学	収容				
美術学科	55	220	56	99	12	337
デザイン学科	190	760	173	245	22	986
建築学科	50	200	52	65	2	257
文芸学科	60	240	67	63	1	305
放送学科	155	620	129	162	7	609
写真学科	30	120	33	60	4	193
工芸学科	40	160	35	44		157
映像学科	80	320	96	102	7	410
舞台芸術学科	170	680	165	183	2	719
芸術計画学科	30	120	43	42	1	184
キャラクター造形学科	150	600	152	194	26	823
音楽学科	45	180	44	65	1	206
演奏学科	80	320	54	81	5	320
初等芸術教育学科	30	120	25	27	1	118
アートサイエンス学科	80	320	67	47	1	228
総計	1,245	4,980	1,191	1,479	92	5,852

大阪芸術大学大学院

(令和5年5月1日現在)

研究科名	課程	専攻	定員		令和4年度 修了生※	1年次生	2年次生	3年次生	在学生数
			入学	収容					
芸術研究科	前期課程	芸術文化学	20	40	5	4	6		10
		芸術制作	60	120	47	33	33		66
	後期課程	芸術	20	60	3	4	3	6	13
総計			100	220	55	41	42	6	89

※満期退学者を含む

大阪芸術大学通信教育部

(令和5年6月9日現在)

学科名	定員		令和4年度 卒業生数	令和5年度 入学生数※	在学生数
	入学(編入学)	収容			
美術学科	150(30)	660	7	54	195
デザイン学科	100(20)	440	7	55	181
建築学科	200(30)	860	13	56	329
文芸学科	150(30)	660	3	42	146
写真学科	100(20)	440	4	15	71
音楽学科	200(40)	880	18	115	546
初等芸術教育学科	50(15)	230	10	20	76
総計	950(185)	4,170	62	357	1,544

※編入学を含む

大阪芸術大学短期大学部

(令和5年5月1日現在)

学科名・専攻名	定員		令和4年度 卒業生数	令和5年度 入学生数	在学生数
	入学	収容			
保育学科	100	200	95	49	120
メディア・芸術学科	160	320	126	139	267
デザイン美術学科	160	320	141	202	392
総計	420	840	362	390	779

大阪芸術大学短期大学部通信教育部

(令和5年6月14日現在)

学科名・コース名	定員		令和4年度 卒業生数	令和5年度 入学生数※	在学生数
	入学(編入学)	収容			
保育学科					
幼稚園コース	—	—	213	—	281
保育コース	100(50)	400	69	48	255
総計	100(50)	400	282	48	536

※編入学を含む

※保育学科幼稚園コースは令和5年度より学生募集を停止。保育学科保育コースは令和5年度より入学定員を変更(250→100)。

大阪芸術大学附属大阪美術専門学校

(令和5年5月1日現在)

学科名・コース(専攻)名	定員		令和4年度 卒業生数	令和5年度 入学生数	在学生数
	入学	収容			
総合デザイン学科	110	330			
グラフィックデザインコース			22	28	69
デジタルデザインコース			10	15	34
イラストレーションコース			13	19	63
プロダクトデザインコース			4	5	25
インテリアデザインコース			3	2	16
小計	110	330	52	69	207
コミック・アート学科	110	220			
マンガコース			5	10	16
コミックイラストコース			36	37	66
アニメコース			6	9	14
フィギュアコース			2	9	12
美術・工芸コース			16	21	46
小計	110	220	65	86	154
総計	220	550	117	155	361

大阪芸術大学附属幼稚園

(令和5年5月1日現在)

園名	定員	令和4年度 卒園児数	令和5年度 入園児数	在園児数
松ヶ鼻幼稚園	200	65	66	192
照ヶ丘幼稚園	210	39	29	87
金剛幼稚園	330	59	37	128
泉北幼稚園	170	10	9	32
総計	910	173	141	439

◇役員・教職員の概要 等

1. 役員

理 事 定数7～9名、任期4年、実数8名
 監 事 定数2名、任期4年、実数2名
 理 事 会 定例3回、臨時0回、開催計3回（令和5年度実績）

※参考

評 議 員 定数15～19名、任期4年、実数19名
 評議員会 定例2回、臨時0回、開催計2回（令和5年度実績）

理事 8名

理事長	塚本 邦彦
副理事長	塚本 英邦
専務理事	亀谷 眞一
理事	寺西 剛
理事	上原 三至
理事	大沢 政徳
理事	工藤 皇
理事	小出 秀文

監事 2名

監事	佐藤 重勝
監事	林 佐智代

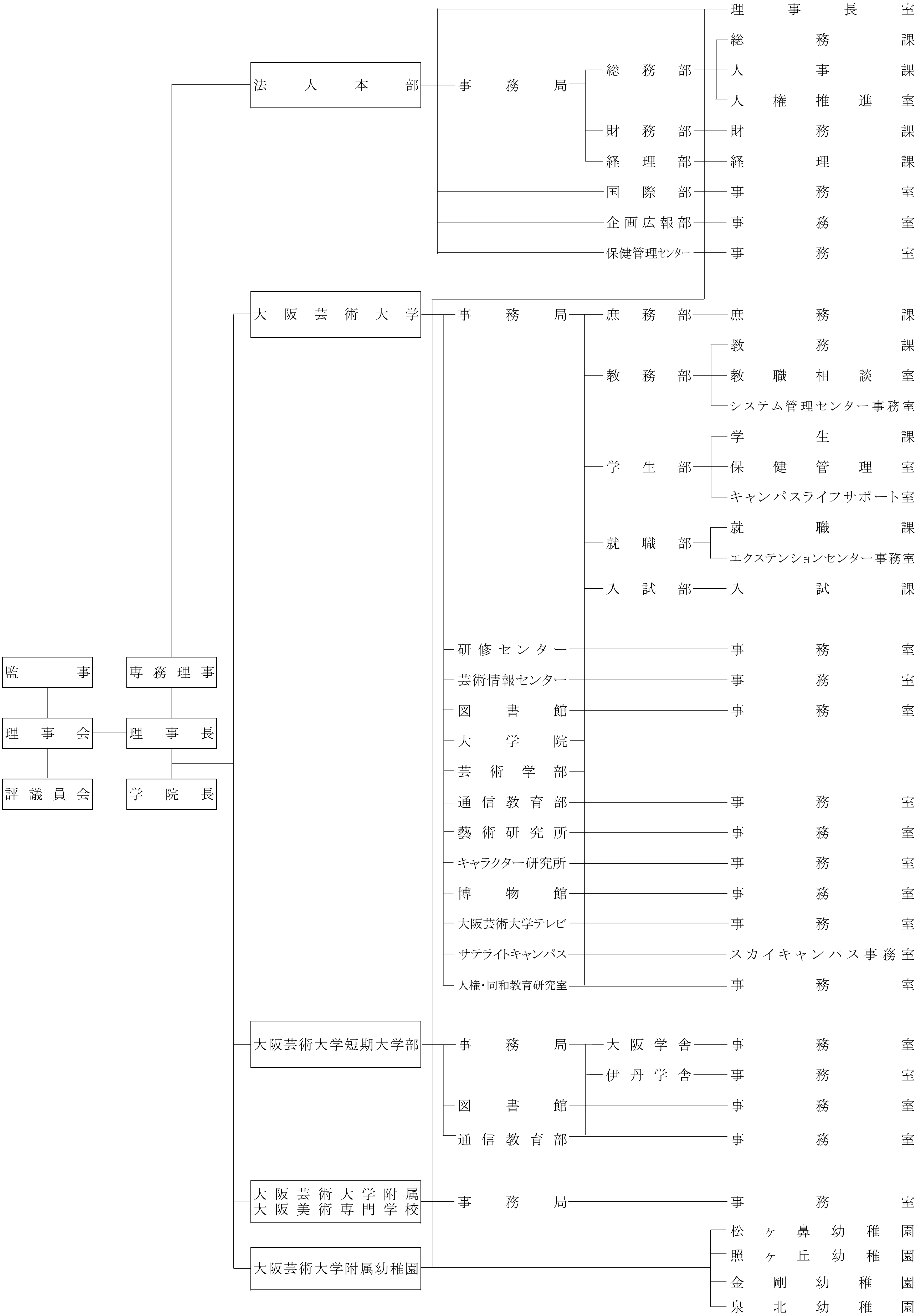
評議員 19名

2. 教職員の概要（令和5年5月1日現在）

（単位：人）

	専任教員	非常勤	専任	計
		教職員	事務職員	
大阪芸術大学	264	687	70	1,021
大阪芸術大学短期大学部	68	149	23	240
大阪芸術大学附属大阪美術専門学校	13	67	11	91
大阪芸術大学附属松ヶ鼻幼稚園	9			9
大阪芸術大学附属照ヶ丘幼稚園	9			9
大阪芸術大学附属金剛幼稚園	8			8
大阪芸術大学附属泉北幼稚園	5			5
法人本部			29	29
合 計	376	903	133	1,412

学校法人塚本学院事務組織機構図



・令和5年度の主な事業の概要

大阪芸術大学グループ

・研究活動支援の取り組み

競争的資金による公的研究費として、文部科学省、日本学術振興会の科学研究費助成事業(科研費)について、令和5年度は、計7件が採択(大学5件、短大2件、いずれも継続課題)されている。令和6年度科研費については、令和5年7月に大学ウェブサイトにて学内公募説明会を実施しており、「基盤研究(B)」「基盤研究(C)」「研究成果公開促進費」「研究活動スタート支援」等の研究課題に対して、大学、短大で計5件の応募申請を行ったが、残念ながらいずれの研究計画も新規採択には至らなかった。

科研費以外の公的研究費(委託研究事業)では、国立研究開発法人科学技術機構(JST)の戦略的創造研究推進事業・チーム型研究(CREST)の研究領域「生体マルチセンシングシステムの究明と活用技術の創出」について1件(研究課題「サイバー社会における多重世界予測符号化の解明」における「VR技術により誘導される脳と行動の変容」(研究担当者)が採択(継続課題)されている。

本学独自の応募型研究助成制度である「塚本学院教育研究補助費」(研究課題1件につき500,000円を上限)について、令和5年度は、大学31件、短大8件、専門学校1件の計40件(20,165,538円)が採択されている。令和5年度は、11月に令和6年度教育研究補助費の申請受付を行い、教育研究補助費運営委員会による書類審査の結果、大学28件、短大12件、専門学校1件の計41件(20,799,930円)が採択となった。

塚本学院出版助成(1件につき1,500,000円を上限)では、令和6年度の出版助成に係る申請受付を令和5年12月に行い、大学教員より2件の応募があった。所管の藝術研究所運営委員会による書類審査、ヒアリングの結果1件が採択されている。また、大阪芸術大学藝術研究所調査補助については、令和5年度、令和6年度ともに該当する研究課題の応募はなかった。

・SD(スタッフ・ディベロップメント)への取り組み

職員の資質・能力向上(SD)の取り組みについては、教職員就業規則に基づき、全ての専任教職員に対し採用時に本学の概要、諸規程・制度、就業規則・服務、諸手続きについての説明や「教職員ガイドブック」の配付による初任者研修を行っている。

また、専任職員に対しては、文部科学省や私立大学協会、私立学校振興・共済事業団等の各団体が実施する学外研修会への参加促進の他、外部民間団体が実施するビジネスセミナーに順次派遣し、経験年数や職階等に応じたテーマ別の講座を受講させている。受講後には学修内容を今後の業務に活かす具体的な方策や感想・要望等をまとめた研修報告書の提出を義務付け、職員の更なる資質・能力向上を図っている。令和元年度から専任職員を4グループに分けて、1年ごとに1グループが受講する形式でスタートしたビジネスセミナーも令和5年度から2巡目を迎え、令和5年度は25名の職員がテーマ別に指定された講座を受講している。

人権研修も毎年実施しており、理事長を委員長とする人権推進委員会で年度の研修テーマを定め、人権推進室が主担となり、専任教職員、アルバイト職員、非常勤副手等を対象に10～20名程度のグループ研修の形式により、人権に関連する情報の共有と、教育現場に求められる人権感覚を身に付けることを目的に実施している。令和5年度は「心理的安全性を高めるコミュニケーションスキルについて」をテーマに、参加型グループ討議や集合研修等の形態で研修を実施し、対話によって安心感を高めるワークの紹介等を通して、学生や保護者、教職員間の関係性がよりスムーズになる方法論について研修を行った。

・産官学連携事業・委託事業

市町村等の地域社会との連携事業や、製品開発の提案、ポスター・表紙デザイン・動画制作、イベントの企画運営等、本学では地域、産業との共同研究や開発に積極的に取り組み、学生の創造性やアイデアの可能性を追求している。総合芸術大学の特色である広い分野と多彩な教育を最大限に活かして、さまざまな実学の機会を設けている。

- ・4月1日～3月31日 堺市市役所(自転車企画推進課)と大阪芸術大学アートサイエンス学科との産学連携により、「サイクルシティ堺」における自転車の活用方法の提案、都市魅力の創出と発信ツールの企画・制作を実施。
- ・4月1日～3月31日 和歌山県橋本市役所(経済推進部農林振興課)と大阪芸術大学デザイン学科との“山”官学連携事業「隠れ里“嵯峨谷”を未来へつなぐ“架け橋”プロジェクト」として、嵯峨谷地区のPRイベントの企画やポスター、フリーペーパー、CM媒体の制作等を実施。
- ・4月～9月 大阪マリOTT都ホテルの委託により、開業10周年を記念する「記念ロゴマークコンペティション」を大阪芸術大学グループ校にて実施。大阪芸術大学短期大学部デザイン美術学科の学生作品が最優秀作品に選出。
- ・4月～12月 大阪信用金庫と大阪芸術大学デザイン学科との産学連携によるデザインコンテストによりノベルティグッズ「ノートブック」の表紙デザインを制作。
- ・4月16日～12月31日 株式会社ATAと大阪芸術大学音楽学科との産学連携による伝統工芸の活性化とPR方法の提案・検証(明珍火箸(明珍本舗)を用いた音・楽曲の制作・発表)を実施。

- ・4月28日～7月14日 株式会社西山酒造場と大阪芸術大学デザイン学科との産学連携による西山酒造場複合施設「鼓傳」内カフェの空間デザイン(装飾、アレンジ)を実施。
- ・4月28日～6月30日 株式会社ユニクロと大阪芸術大学デザイン学科との産学連携により、地域活性化の取り組みとして大阪の観光地をテーマにしたTシャツ(UT)のデザイン・商品化を行った。
- ・5月上旬～6月7日 伊丹市消防局からの委託により、令和6年度伊丹市消防局消防吏員採用広報にかかるポスターデザインを大阪芸術大学短期大学部デザイン美術学科が制作。
- ・5月26日～7月7日 サントリー株式会社と大阪芸術大学デザイン学科との産学連携により、ビール離れが進む若者をターゲットにしたマーケティングやプロモーション、製品アイデアの企画・検討を実施。
- ・6月 富田林市役所(人事課)と大阪芸術大学デザイン学科との産学連携により、職員採用試験のポスターを制作。
- ・7月21日～10月13日 株式会社電通と大阪芸術大学デザイン学科との産学連携により、「人権アートプロジェクト」の人権啓発ポスターを制作。
- ・9月 大阪府警察富田林警察署(交通課交通総括係)からの委託により、交通安全啓発のポスター、チラシ等を大阪芸術大学デザイン学科が制作。
- ・9月11日～4月9日 株式会社ヤマハミュージッククリエイトからの委託により、大阪芸術大学工芸学科学生が「目で見て楽しむ音楽」をテーマにアート作品を制作。ヤマハミュージック大阪なんば店1Fフロア(体験エリア)にて展示。
- ・9月21日～3月31日 株式会社オートバックスセブンからの委託により、大阪芸術大学デザイン学科学生が兵庫県尼崎市の複合型商業施設ショッピングモール「ama do」(アマドゥ)のメインサインのデザインを制作。
- ・10月4日～31日 あべのハルカス近鉄本店タワー館(8階こども服売場)にて、近鉄百貨店と大阪芸術大学デザイン学科との産学連携によるハロウィン装飾を展示。
- ・11月2日～3月31日 株式会社紀陽銀行からの委託により、大阪芸術大学デザイン学科が社内誌の表紙イラスト、地域の特産品・名所をPRする「地域価値共創拠点」(NAMBA SQUARE)のサイネージ画像を制作。
- ・11月17日～5月31日 大阪府南河内農と緑の総合事務所と大阪芸術大学デザイン学科との産学連携により、南河内いちごの需要増・販路拡大事業「南河内いちごを贈ろう! インスタキャンペーン2024」のオリジナルメッセージカードを制作。
- ・11月23日～12月25日 ららぽーとEXPOCITYグリーンサイドエントランスにて、EXPOCITY(三井不動産)と大阪芸術大学との産学連携プロジェクト「WONDER CITY CHRISTMAS & デジタルアート」(AR(拡張現実)を利用したフォトスポットとサイネージを使用したデジタルアート)をデザイン学科学生が制作。
- ・11月29日 河南町と大阪芸術大学との産学連携事業として、デザイン学科学生が道の駅かなんの依頼により地元産調味料(ほりにしスパイス)の商品ラベルのデザインを担当。
- ・12月～1月 社会医療法人愛仁会千船病院の委託により、病院環境を改善するアートプロジェクトとして、通院・入院患者等のストレスや不安感、緊張感の緩和を目的としたアート作品の制作・展示を実施。
- ・12月1日～25日 あべのハルカス近鉄本店ウイング館にて、近鉄百貨店と大阪芸術大学デザイン学科との産学連携プロジェクト「クリスマスアドベントカレンダー」を制作・展示。
- ・1月27日～2月4日 大阪府近つ飛鳥博物館と大阪芸術大学との連携協定に基づく企画展「応答する遺物—土器は忘却に逆らう—」を芸術計画学科(「プロジェクト演習」近つ飛鳥プロジェクトチーム)の企画・運営により開催。
- ・2月10日～11日 近畿日本鉄道株式会社と大阪芸術大学工芸学科との産学連携により、富田林駅周辺活性化事業「富田林寺内町アートイベント」にアート作品を制作・展示。
- ・2月22日～3月25日 八尾市魅力創造部産業政策課と大阪芸術大学デザイン学科との産学連携プロジェクトとして、八尾市が利用促進しているコミュニティ通貨を広めるためのイベントを企画。
- ・3月20日～24日 大丸心斎橋店南館特設会場にて、株式会社J.フロント装建と大阪芸術大学デザイン学科との産学連携による“端材の再生でサステナブルな未来を描く”アップサイクルプロジェクト(端材の再生作品コンペティション)による受賞作品の展示発表を実施。

・芸術活動の支援、学生主体のイベントの実施

学内外の芸術活動や展覧会等の文化的事業に協賛し、活力ある社会を目指して支援するとともに、学生参加型のイベントにも積極的に協力し、学生の学びをサポートしている。また、さまざまな連携を通して、社会や地域・環境に貢献できる事業にも参画している。

- ・6月21日 ブルックリンパーラー大阪にて、「ブルックリンパーラー大阪×大阪芸術大学 共同企画ライブ #2」を開催。
- ・7月10日～17日 アジア太平洋トレードセンター(ATC)にて、「大阪芸術大学アートサイエンス学科 X展」を開催。
- ・8月5日 大阪芸術大学(12号館・13号館・AVホール)にて、近隣の未就学児と保護者、附属幼稚園児を対象にアート体験イベント「げいだいキッズアートカレッジ」を開催。
- ・8月7日 ブルックリンパーラー大阪にて、「ブルックリンパーラー大阪×大阪芸術大学 共同企画ライブ #3」を開催。
- ・8月9日～10日 大阪・なんばHatchにて開催のFM802ラジオ発ライブイベント「HIGH! HIGH! HIGH!」に大阪芸術大学芸術計画学科が参加。イベント運営の舞台裏の見学や物販ブースの設営などを体験。
- ・8月12日・13日 宝塚市立文化芸術センター特別プログラム高校生観賞ツアーを開催。

- ・8月21日 Zepp Namba、8月23日 愛知県立芸術劇場、8月24日 フェスティバルホール、8月28日 サントリーホールにて「大阪芸術大学プロムナードコンサート2023」を開催。
- ・9月2日 グランキューブ大阪(大阪府立国際会議場)にて「art stage OSAKA 2023」特別プログラム高校生見学ツアーを開催。
- ・9月5日 ブルックリンパーラー大阪にて、「ブルックリンパーラー大阪×大阪芸術大学 共同企画ライブ #4」を開催。
- ・9月6日～8日 東京ビッグサイトにて開催のトータルインテリアの国際見本市「LIVING & DESIGN 2023」に大阪芸術大学デザイン学科がブース出展参加。
- ・10月18日 ザ・シンフォニーホールにて、「大阪芸術大学ウインド・オーケストラ 第44回定期演奏会」を開催。
- ・10月22日 兵庫県立芸術文化センター(阪急中ホール)にて、「大阪芸術大学 朝日・大学シンポジウム 声優学概論 一声はパッション!!」を開催。
- ・10月31日～11月11日 大阪芸術大学スカイキャンパス(あべのハルカス24階)にて、「第26回学生作品オークション 作品展示販売」、「大阪芸術大学出身 第8回美術科教員による作品展」を開催。
- ・11月3日 御堂筋パーティー実行委員会(大阪府他)主催「御堂筋ランウェイ2023」に協賛。大阪芸術大学演奏学科、舞台芸術学科学生がパフォーマンス参加。
- ・11月6日 ヤマハグランドピアノサロン大阪にて、「大阪芸術大学×ヤマハミュージック大阪なんば店 演奏学科・音楽学科の学生によるオータムコンサート」を開催。
- ・11月14日 サンケイホールブリーゼにて、「大阪芸術大学JAZZ & POPS 2023」を開催。
- ・11月19日 大阪中央公会堂にて、大阪芸術大学デザイン学科「第17回 オオサカデザインフォーラム」を開催。
- ・11月23日・12月10日 大阪芸術大学スカイキャンパスにて、デザイン学科ハイパープロジェクトの一環としてワークショップ「こどもデザインプロジェクト」を開催。
- ・11月27日～12月9日 大阪芸術大学芸術情報センター 展示ホールにて「“世紀のダ・ヴィンチを探せ!” 高校生アートコンペティション2023」展覧会を開催。
- ・12月5日～21日 大阪芸術大学スカイキャンパス(あべのハルカス24階)にて、「第15回高円宮殿下記念根付コンペティション記念展」を開催。
- ・12月7日 フェスティバルホールにて、「大阪芸術大学 特別演奏会2023」を開催。
- ・12月14日～25日 「大阪光の饗宴」コアプログラム「OSAKA光のルネサンス2023」において、クリエイティブカンパニー NAKED,INC.(株式会社ネイキッド)と大阪芸術大学アートサイエンス学科とのコラボレーションによるプロジェクトマッピング作品を大阪市中央公会堂壁面に投影・披露した。また、中之島公園エリアの中之島バラ園では芸術計画学科による「バルーン・アート」の展示を行った。
- ・12月16日 大阪市中央公会堂にて、「クリスマス・ポップスコンサート2023」を開催。
- ・3月8日 兵庫県立芸術文化センターにて、大阪芸術大学 第45回オペラ公演「氷山ルリの大航海」を開催。(後述)
- ・3月16日 COOL JAPAN PARK OSAKA TTホールにて、大阪芸術大学舞台芸術学科 学外公演「十一びきのネコ」を開催。

大阪芸術大学

・第45回オペラ公演『氷山ルリの大航海』

大阪芸術大学第45回オペラ公演『氷山ルリの大航海』を、令和6年3月8日に兵庫県立芸術文化センターKOBELCO大ホールにて上演した。大阪芸術大学の客員教授でもあられる高円宮妃久子殿下原作の絵本をもとに誕生したオペラを5年ぶりに再演。演奏学科を中心に音楽学科、放送学科、アートサイエンス学科の学生たちが参加し、学科を超えたコラボレーションによって大阪芸術大学ならではの総合芸術を披露した。公演にあたっては、出演するソリストをはじめ、オーケストラやコーラス、道具や衣装、照明・音響といったステージの裏方や視覚効果のプロジェクションマッピングに至るまで、舞台を構成するすべてのパートで在学生在が参加し、世界レベルのオーケストラやオペラの公演も行われるホールを利用した貴重な学びの機会を得ることができた。(来場者数1,232名)

・プロムナードコンサート2023

毎夏の恒例行事となっている「プロムナードコンサート」は、令和5年度も日本各地を巡演し、8月21日のZepp Namba(大阪)のポップスステージをかわきりに、23日に愛知県芸術劇場にて名古屋公演、24日には再び大阪フェスティバルホールでオーケストラステージを開催。28日にはサントリーホールにて初の東京公演も実施した。大阪公演のオーケストラステージでは、世界的マエストロである演奏学科の大友直人教授と作曲家の宮川彬良氏が指揮を務め、ヴァイオリニストの川井郁子教授、ソプラノ歌手の小林沙羅准教授、ピアニストの熊本マリ教授と今川裕代准教授、フルート奏者の神田寛明客員教授、ヴァイオリニストの三浦文彰氏ら豪華なソリストが出演。大阪芸術大学管弦楽団、混成合唱団として参加した演奏学科の学生たちは、一流の音楽家とともに見事な演奏を披露した。コンサートのポップスステージでは、1年生全員によるゴスペルから始まり、学内オーディションで選ばれた学生バンドが登場。学生たちは3都市の各会場で真剣なリハーサルを重ね、大舞台を経験して大きく成長することができた。(各公演の来場者数…8/21 Zepp Namba 500名、8/23 愛知県芸術劇場 1,600名、8/24 フェスティバルホール 2,332名、8/28 サントリーホール 1,404名)

その他の取り組み

<国際交流>

- ・姉妹校・海外交流協定に基づく相互留学制度により、弘益大学校(韓国)、ミネアポリス美術デザイン大学(米国)、メリーランド美術大学(米国)、アートセンターデザイン大学(米国)、カンザスシティ美術大学(米国)より、大阪芸術大学に15名(美術学科4名、デザイン学科2名、工芸学科6名、映像学科1名、キャラクター造形学科2名)の留学生を受け入れ。
- ・8月17日～24日 英国夏期セミナーとして、オックスフォード大学 セント・エドモンド・ホールにおける語学研修に大阪芸術大学から6名、大阪芸術大学短期大学部から8名の学生が参加。

<教育組織>

- ・大阪芸術大学短期大学部通信教育部保育学科の入学定員を変更(保育学科保育コース250名→100名、保育学科幼稚園コース250名→0名(学生募集停止))

大阪芸術大学附属幼稚園

コロナ禍において行動制限を余儀なくされる中であってもできる限りの園活動を行ってきたが、令和5年に5類感染症となったことを受け、4年ぶりに制限のない活動を行うことができた。

・附属4園合同音楽会

令和6年2月3日、国際交流センターにて公演を行った。合唱から楽器演奏まで、大阪芸術大学の音楽教員が園児に本格的な演奏指導を行い、4園の年長児が一堂に会し演奏を披露した。

・園外保育

6月・海遊館、11月・関西サイクルスポーツセンターにて4園合同で園外保育を実施した。バスに乗っての遠足で子ども達はワクワク、大きなジンベエザメに驚いたり、珍しい自転車にたくさん乗って面白かったり、お昼はマスク無しで皆で揃っておにぎりを食べるなど1日を大いに楽しみ、子ども達の好奇心を刺激する効果を得ることができた。

・作陶教室

大阪美術専門学校の教員及び学生による指導の下、園児自ら土粘土を捏ね制作した作品(器やお皿)を窯で焼き上げ、卒園記念品として持ち帰った。

・地域子育て支援

大阪府の補助を受けながら、園内外の保護者へ向け専門のカウンセラーによる子育て相談会を年間12回対面で開催、未入園児を対象におやこ教室や園庭・保育室開放など年間を通じて実施し、地域の親子を園に招き教諭の指導の下安全に遊んでもらう等、地域の子育て支援活動を行った。

この他、運動会、スイミング、お誕生日会、お茶のおけいこ、こどもクッキング、英語活動、iPad教室、柔道教室、おゆうぎ会、防災・避難訓練など園活動を活発に行った。

Ⅲ. 財務の概要

◇決算の概要

資金収支計算書の主な状況

収入の部では、

学生生徒等納付金収入が、106億2千6百万円となり、前年度より1億1千万円の増加となりました。

手数料収入は、入学検定料・試験料収入が主なもので6千2百万円となり、昨年度より6百万円減額となりました。

補助金収入は、経常費補助金で9億2千5百万円、施設設備補助金は1億1千9百万円、大阪府等の地方公共団体補助金は1億4千3百万円となり、全体で11億8千8百万円となりました。

資産売却収入は、債券の売却等により19億3千2百万円となりました。

付随事業・収益事業収入は、3千6百万円となり、昨年度より1千2百万円増加しました。

受取利息・配当金収入は、9億7千6百万円となりました。

雑収入は、私立大学退職金財団交付金収入等で、4億9千2百万円となりました。

前受金収入は、22億6千2百万円となり、昨年度より1億6千2百万円減額となりました。

支出の部では、

人件費支出は、81億2千5百万円で、昨年より2億3千9百万円増加しました。

教育研究経費支出は、43億4千3百万円で、昨年度より1千1百万円減少しました。

管理経費支出は、15億7千4百万円で昨年より7千2百万円増加しました。

施設関係支出は、芸大・美術専門学校の空調設備更新等で5億3百万円となりました。

設備関係支出は、教育研究用機器備品、ソフトウェアの購入等で4億9千3百万円となりました。

事業活動収支計算書の主な状況

事業活動収入では、

学生生徒等納付金は、106億2千6百万円となり、前年度より1億1千万円の増加となりました。

手数料は、入学検定料・試験料収入が主なもので6千2百万円となり、昨年度より6百万円減額となりました。

寄付金は、現物寄付のみで、5百30万円となりました。

補助金収入は、経常費補助金で9億2千5百万円、施設設備補助金は1億1千9百万円、大阪府等の地方公共団体補助金は1億4千3百万円となり、全体で11億8千8百万円となりました。

付随事業・収益事業収入は、3千6百万円となり、昨年度より1千2百万円増加となりました。

雑収入は、私立大学退職金財団交付金収入等で、4億9千2百万円となりました。

受取利息・配当金収入は、9億7千6百万円となりました。

資産売却差額は、債券売却時の差額分他で1億4千万円となりました。

事業活動支出では、

人件費は、79億8千2百万円であり、昨年度より2億2千万円増加しました。

教育研究経費は、66億3百万円であり、昨年度より4千3百万円増加しました。

管理経費は、17億9千3百万円となり、昨年度より6千4百万円増加しました。

資産処分差額は4百十万円となり、備品、図書の廃棄分です。

貸借対照表の主な状況

資産の部では、

固定資産は、有形固定資産が520億円となり、昨年比14億3千7百万円の減少となりました。

特定資産は、203億円となり、昨年から増減ございません。

その他の固定資産は、53億5千9百万円となり、昨年比6億6千万円の増加となりました。

流動資産は、148億8千9百万円となり、昨年比22億9千5百万円の減少となりました。

資産の部合計は、925億4千8百万円となりました。

負債の部では、

固定負債は、34億4千7百万円となり、昨年比1億4千2百万円の減少となりました。

流動負債は、32億7千9百万円となり、昨年比7千3百万円の減少となりました。

負債の部合計は、67億2千7百万円となり、昨年比2億1千5百万円の減少となりました。

純資産の部では、

基本金は、1,214億7千万円となり、昨年比9億7千1百万円の増加となりました。

繰越収支差額は、△356億4千8百万円となり、昨年比△38億2千7百万円となりました。

純資産の部合計が正味財産となり、858億2千1百万円となります。

◇その他

①有価証券の状況

(単位:千円)

種 別	貸借対照表計上額	時 価	差 額
債券	24,087,790	24,355,430	267,640
株式	928,675	1,183,243	254,568

②借入金の状況

借入金はありません。

③学校債の状況

学校債は発行していません。

④寄付金の状況

現在募集していません。

⑤補助金の状況

※経常費補助金の獲得金額推移

(単位:千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
一般補助	254,970	310,523	408,979	309,775	312,886
特別補助	88,712	15,809	12,964	5,193	1,620
授業料等減免費	-	551,922	578,754	598,599	610,562
合計	343,682	878,254	1,000,697	913,567	925,068

⑥収益事業の状況

私立学校法上の収益事業に該当する事業はありません。

⑦関連当事者等との取引の状況

ア) 関連当事者

関連当事者との取引はありません。

イ) 出資会社

ありません。

⑧学校法人間財務取引

学校法人間財務取引は行っておりません。

◇経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

学院全体として、学生生徒等納付金は微増しております。

今後も安定的に学生生徒数を確保できるよう尽力しつつ、研究・学習環境の維持向上に努めながら、支出構造の再検討を行い、収支改善を図っていきます。

2025年の創立80周年に向け、「学校法人塚本学院大阪芸術大学グループビジョン2025」に基づき永続的存続へと歩みを続けていきます。

資金収支計算書 (5ヵ年推移)

(単位:千円)

収入の部	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
学生生徒等納付金収入	9,626,600	10,033,854	10,373,108	10,516,313	10,626,823
手数料収入	71,831	65,466	68,754	68,871	62,945
寄付金収入	0	0	0	0	0
補助金収入	580,789	1,070,125	1,446,941	1,260,678	1,188,086
資産売却収入	8,170,500	12,518,009	9,652,677	9,269,503	1,932,597
付随事業・収益事業収入	36,770	12,431	21,386	24,495	36,674
受取利息・配当金収入	754,273	1,097,307	1,479,812	1,180,072	976,532
雑収入	609,920	471,622	484,305	400,440	492,111
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	2,471,179	2,402,809	2,394,474	2,425,187	2,262,665
その他の収入	3,200,508	2,895,013	566,052	787,520	650,662
資金収入調整勘定	△ 2,948,250	△ 2,965,669	△ 3,133,314	△ 2,956,646	△ 2,948,514
前年度繰越支払資金	2,271,938	1,031,470	1,187,696	8,817,616	16,452,507
収入の部の合計	24,846,057	28,632,437	24,541,890	31,794,053	31,733,093

支出の部	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
人件費支出	8,377,554	7,998,791	7,961,662	7,885,595	8,125,321
教育研究経費支出	3,402,713	4,017,777	3,812,679	4,355,186	4,343,777
管理経費支出	1,575,702	1,365,065	1,472,550	1,501,857	1,574,667
借入金等利息支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	1,851,421	1,220,326	1,626,405	867,455	503,847
設備関係支出	393,794	640,587	600,862	599,136	493,382
資産運用支出	7,992,119	12,472,779	0	0	2,490,734
その他の支出	976,393	783,023	1,146,538	1,009,232	976,007
資金支出調整勘定	△ 755,109	△ 1,123,607	△ 896,424	△ 876,919	△ 954,282
翌年度繰越支払資金	1,031,470	1,187,696	8,817,617	16,452,507	14,179,637
支出の部の合計	24,846,057	28,632,437	24,541,890	31,794,053	31,733,093

活動区分資金収支計算書（5ヵ年推移）

(単位:千円)

科目		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	9,626,600	10,033,854	10,373,108	10,516,313
		手数料収入	71,831	65,466	68,754	68,871
		經常費等補助金収入	440,140	1,000,921	1,137,063	1,043,424
		付随事業収入	36,770	12,431	21,386	24,495
		雑収入	609,920	471,622	484,305	400,440
		教育活動資金収入計	10,785,260	11,584,294	12,084,615	12,053,545
	支出	人件費支出	8,377,554	7,998,791	7,961,662	7,885,595
		教育研究経費支出	3,402,713	4,017,777	3,812,679	4,355,186
		管理経費支出	1,545,959	1,365,065	1,472,550	1,501,857
		教育活動資金支出計	13,326,226	13,381,633	13,246,891	13,742,639
	差引		△ 2,540,966	△ 1,797,339	△ 1,162,276	△ 1,689,094
	調整勘定等		229,439	124,674	55,622	64,299
	教育活動資金収支差額		△ 2,311,527	△ 1,672,665	△ 1,106,654	△ 1,624,794
施設整備等活動による資金収支	収入	施設設備補助金収入	140,649	69,204	309,878	217,254
		施設設備売却収入	2,300	1,800	480	266
		第2号基本金引当特定資産取崩収入	435,000	140,000	0	0
		施設整備等活動資金収入計	577,949	211,004	310,358	217,520
	支出	施設関係支出	1,851,421	1,290,326	1,626,405	867,455
		設備関係支出	393,794	640,587	600,862	599,136
		施設整備等活動資金支出計	2,245,215	1,930,913	2,227,267	1,466,592
	差引		△ 1,667,266	△ 1,719,909	△ 1,916,909	△ 1,249,072
	調整勘定等		△ 142,003	398,665	△ 491,032	100,113
	施設整備等活動資金収支差額		△ 1,809,269	△ 1,321,244	△ 2,407,941	△ 1,148,959
小計（教育活動資金収支差額+施設整備等活動収支差額）		△ 4,120,796	△ 2,993,909	△ 3,514,595	△ 2,773,753	△ 2,730,818
その他の活動による資金収支	収入	有価証券売却収入	8,168,200	12,516,209	9,652,197	9,269,237
		その他の収入	2,062,464	2,064,804	70,779	57,639
		小計	10,230,664	14,581,013	9,722,885	9,326,877
		受取利息・配当金収入	754,273	1,097,307	1,479,812	1,180,072
		その他の収入他の活動資金収入計	10,984,937	15,678,320	11,202,697	10,506,949
	支出	有価証券購入支出	5,992,119	10,472,779	0	0
		その他の支出	2,113,567	2,055,406	58,397	98,089
		小計	8,105,686	12,528,185	58,397	98,089
		その他の活動資金支出計	8,105,686	12,528,185	58,397	98,089
	差引		2,879,251	3,150,135	11,144,300	10,408,859
	調整勘定等		1,077	0	216	△ 215
	その他の活動資金収支差額		2,880,328	3,150,135	11,144,516	10,408,644
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)		△ 1,240,468	156,226	7,629,921	7,634,890	△ 2,272,869
前年度繰越支払資金		2,271,938	1,031,467	1,187,696	8,817,616	16,452,507
翌年度繰越支払資金		1,031,470	1,187,696	8,817,617	16,452,507	14,179,637

事業活動収支計算書（5ヵ年推移）

(単位: 千円)

科 目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金	9,626,600	10,033,854	10,373,108	10,516,313	10,626,823
		手数料	71,831	65,466	68,754	68,871	62,945
		寄付金	0	0	0	0	0
		経常費等補助金	440,140	1,000,921	1,137,063	1,043,424	1,068,125
		付随事業収入	36,770	12,431	21,386	24,495	36,674
		雑収入	610,339	481,554	484,703	401,960	492,264
		教育活動収入計	10,785,679	11,594,226	12,085,013	12,055,066	12,286,833
	支出	人件費	8,278,950	7,890,501	7,870,348	7,762,840	7,982,874
		(うち退職給与引当金繰入額)	773,038	577,438	560,592	424,504	526,483
		教育研究経費支出	5,550,991	6,100,987	5,911,455	6,560,067	6,603,752
		(うち減価償却額)	2,147,136	2,082,193	2,097,904	2,202,215	2,254,711
		管理経費支出	1,754,949	1,572,976	1,687,780	1,728,544	1,793,438
		(うち減価償却額)	208,989	207,910	215,230	226,686	218,770
		徴収不能額等	540	250	15	725	550
教育活動支出計	15,585,429	15,564,714	15,469,598	16,052,177	16,380,615		
教育活動資金収支差額		△ 4,799,751	△ 3,970,488	△ 3,384,585	△ 3,997,111	△ 4,093,781	
教育活動外収支	収入	受取利息・配当金収入	754,273	1,097,307	1,479,812	1,180,072	976,532
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
		教育活動外収入計	754,273	1,097,307	1,479,812	1,180,072	976,532
	支出	借入等利息	0	0	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0	0	0
	教育活動外収支差額		754,273	1,097,307	1,479,812	1,180,072	976,532
経 常 収 支 差 額		△ 4,045,478	△ 2,873,181	△ 1,904,773	△ 2,817,038	△ 3,117,248	
特別収支	収入	資産売却差額	170,500	861,935	2,429,469	2,616,393	140,059
		その他の特別収入	153,187	76,170	322,372	225,909	125,306
		現物寄付	12,538	6,966	12,494	8,655	5,345
		施設設備補助金	140,649	69,204	309,878	217,254	119,961
		特別収入計	323,687	938,105	2,751,841	2,842,303	265,365
	支出	資産処分差額	7,853,358	58,429	12,734	31,466	4,125
		その他の特別支出	29,743	0	0	0	0
		過年度修正額	29,743	0	0	0	0
		特別支出計	7,883,101	58,429	12,734	31,466	4,125
特別収支差額		△ 7,559,415	879,676	2,739,107	2,810,836	261,240	
基本金組入前当年度収支差額		△ 11,604,892	△ 1,993,505	834,335	△ 6,202	△ 2,856,008	
基本金組入額合計		△ 1,583,616	△ 1,278,802	△ 2,185,457	△ 1,240,610	△ 971,625	
当年度収支差額		△ 13,188,508	△ 3,272,307	△ 1,351,122	△ 1,246,812	△ 3,827,633	
前年度繰越収支差額		△ 12,780,775	△ 25,956,957	△ 29,227,712	△ 30,575,469	△ 31,821,210	
基本金取崩額		12,326	1,552	3,365	1,071	0	
翌年度繰越収支差額		△ 25,956,957	△ 29,227,712	△ 30,575,469	△ 31,821,210	△ 35,648,844	

(参考)

事業活動収入計	11,863,638	13,629,638	16,316,667	16,077,441	13,528,732
事業活動支出計	23,468,530	15,623,143	15,482,332	16,083,643	16,384,740

貸借対照表（5ヵ年推移）

資産の部（土地,建物,特定資産,現預金等）(単位:千円)

	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末
固定資産	95,118,312	93,384,760	86,075,843	78,435,931	77,659,145
有形固定資産	55,097,506	54,553,209	54,422,713	53,437,534	52,000,078
特定資産	20,440,000	20,300,000	20,300,000	20,300,000	20,300,000
その他の固定資産	19,580,807	18,531,551	11,353,131	4,698,397	5,359,066
流動資産	1,922,933	1,826,197	9,711,535	17,184,695	14,889,607
資産の部合計	97,041,245	95,210,957	95,787,379	95,620,626	92,548,752

負債の部（退職給与引当金,未払金,前受金）・純資産の部（資産から負債を差し引いた金額）

	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末
固定負債	3,923,693	3,805,867	3,714,554	3,590,446	3,447,897
流動負債	3,274,822	3,555,865	3,389,266	3,352,823	3,279,507
負債の部合計	7,198,515	7,361,732	7,103,819	6,943,269	6,727,404
基本金	115,799,687	117,076,937	119,259,028	120,498,567	121,470,193
第1号基本金	102,139,687	103,556,936	105,739,028	106,978,567	107,950,193
第2号基本金	140,000	0	0	0	0
第3号基本金	12,500,000	12,500,000	12,500,000	12,500,000	12,500,000
第4号基本金	1,020,000	1,020,000	1,020,000	1,020,000	1,020,000
繰越収支差額	△ 25,956,957	△ 29,227,712	△ 30,575,469	△ 31,821,210	△ 35,648,844
純資産の部合計	89,842,730	87,849,224	88,683,559	88,677,357	85,821,348
負債の部及び純資産の部合計	97,041,245	95,210,957	95,787,379	95,620,626	92,548,752

財務比率（5ヵ年推移）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
人件費比率	71.7%	62.2%	58.0%	58.7%	60.2%
人件費依存率	86.0%	78.6%	75.9%	73.8%	75.1%
教育研究経費比率	48.1%	48.1%	43.6%	49.6%	49.8%
管理経費比率	15.2%	12.4%	12.4%	13.1%	13.5%
借入金等利息比率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
学生生徒等納付金比率	83.4%	79.1%	76.5%	79.5%	80.1%
補助金比率	4.9%	7.9%	8.9%	7.8%	8.8%
減価償却比率	15.1%	14.7%	14.9%	15.1%	15.1%
経常収支差額比率	△35.1%	△22.6%	△14.0%	△21.3%	△23.5%
基本金組入後収支比率	228.3%	126.5%	109.6%	108.4%	130.5%
純資産構成比率	92.6%	92.3%	92.6%	92.7%	92.7%
負債比率	8.0%	8.4%	8.0%	7.8%	7.8%
総負債比率	7.4%	7.7%	7.4%	7.3%	7.3%